

徳島県代協主催「春の交通安全キャンペーン」に参加 ～ 県民に交通安全意識醸成を図る ～

日本損害保険協会四国支部徳島損保会（会長：橋口 信也：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・徳島支店長）では、徳島県損害保険代理業協会（会長：三好 亘）主催の「春の交通安全キャンペーン」に共催として参加し、4月13日（土）に大型ショッピングセンター「フジグラン北島」で交通安全（自転車の事故防止と高齢者の交通事故防止）を呼びかけました。

徳島県は2023年、人口10万人当たりの交通事故死者数がワースト1位です。2024年も4月16日現在で9名がお亡くなりになり、ワースト1位が続いています。このようななか、少しでも交通事故が減少することを願って実施しました。

当日は、徳島県損害保険代理業協会の三好会長をはじめ、損保社員、徳島代協会員、徳島県警等約30人が参加し、来場者に各保険会社等から協賛をいただいたリサイクルリフレクター他ノベルティ500セットを、安全運転のための注意喚起として配布しました。

また子ども向けイベントとして、「子ども免許証」の発行を実施しました。これは、実際の免許証のような形で子ども向けに作成したもので人気のイベントになっていました。

その他、プロバスケットボールチームである徳島ガンバローズの選手によるトークショーや、徳島県警察音楽隊コンサート、パトカーや白バイの試乗等が実施され多くのお客様が集まりました。

当支部では引き続き関係機関との連携を深め、交通安全の活動を進めてまいります。



子ども免許証を作成するブースの様子



パトカーと白バイの展示